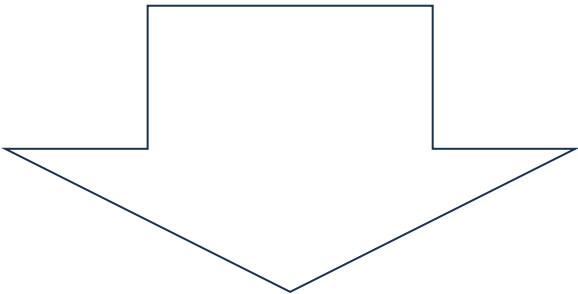
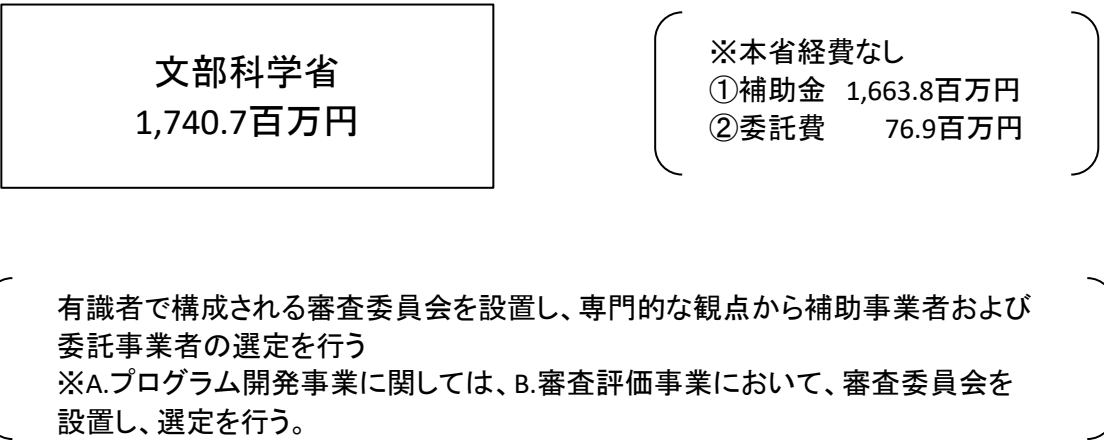


活動内容① (アクティビティ)		補助事業等を通じ、大学等に対して、基礎、応用、エキスパートなど多様なレベルや分野に応じたりカレント教育プログラムの開発・実施を支援する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		社会人や企業等のニーズを踏まえたリカレント教育プログラムを開発する	開発実施したリカレント教育プログラムの数	活動実績	プログラム	-	-	-	-	-
				当初見込み	プログラム	-	-	-	69	-
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	補助事業等を通じて、社会のニーズに合ったリカレント教育プログラムの提供が可能となるとともに、大学等が開発・実施するリカレント教育プログラム数が増加し、それらのプログラムを受講する社会人の数も増加する。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		社会人によるリカレント教育プログラムの受講	開発されたリカレント教育プログラムの受講者数	成果実績	人	-	-	-	-	
				目標値	人	-	-	-	2,070	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		「令和4年度成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」実績報告書								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	大学等におけるリカレント教育プログラムを受講した結果、受講者の能力・スキル向上に良い影響を及ぼす。								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		プログラム受講を通じて、職場においても活用できる汎用的スキル・能力を身に付ける	「専門的・先端のかつ高度な知識・スキルを得る」ことに関して、プログラム受講後に達成できたと考える受講者の割合	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	70	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		「成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」の成果報告書								
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	大学等におけるリカレント教育プログラムの良さが伝わり、継続的な受講者数確保、プログラム実施につながる								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8 年度	
		大学等における社会人プログラムの充実	事業終了後のリカレント教育プログラムの継続実施率	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	70	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		「令和4年度成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」採択校へのフォローアップ調査								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	-																															
	URL	-																															
	該当箇所	-																															
事業所管部局による点検・改善																																	
点検結果	事業実施にあたっては、競争性を確保した支出先の選定を行うとともに、事業経費の費目・使途の厳正な精査を行うことにより、効率的且つ効果的に事業を実施できるよう努めることとしている。																		目標年度における効果測定に関する評価（令和6年度実施）														
	-																																
改善の 方向性	事業の重要性や目的を踏まえ、事業経費の効率的な執行を図り、かつ効果的な事業成果が得られるように努める。																																
外部有識者の所見																																	
外部有識者による点検対象外																																	
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見																																	
終了予定	本事業は、当初計画に基づき令和5年度をもって予定通り終了。なお、本事業の成果の検証を行い、今後の事業実施に活用すべきである。																																
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況																																	
予定通り終了	本事業の成果について継続的にフォローアップ・検証を実施するとともに、今後のリカレント教育関連事業の実施に活用していく。																																
過去に受けた指摘事項 と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ																																
	-																																
	上記への対応状況																																
	-																																
	その他の指摘事項																																
	-																																
	上記への対応状況																																
-																																	
備考																																	
-																																	
関連する過去のレビューシートの事業番号																																	
平成23年度																																	
平成24年度																																	
平成25年度																																	
平成26年度																																	
平成27年度																																	
平成28年度																																	
平成29年度																																	
平成30年度																																	
令和元年度																																	
令和2年度																																	
令和3年度	2021	文科		20	0031			2021	文科		新22	0005																					
令和4年度	2022	文科		新22	0024																												

※執行実績がない新規事業のため、現時点での予定やイメージを記入

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。また執行実績がないため、予算積算上の金額・団体数を記載している。



補助【公募(企画競争)】

A.大学等(69団体)
1,603.9百万円

【プログラム開発事業】
成長分野等におけるリカレント
教育プログラムの開発・実施

補助【公募(企画競争)】

B.公益法人又は
独立行政法人(1団体)
60百万円

【審査・評価事業】
プログラム開発事業の補助事
業者の選定、フォローアップ評
価の実施

委託【一般競争入札(総合評価落札方式)】

C.民間事業者等(1団体)
76.9百万円

【伴走支援事業】
プログラム開発事業の実施者
に対してプログラム開発実施等
に係る支援・分析等を実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック